



2021年8月27日

各 位

上場会社名 モロゾフ株式会社
 代表者 代表取締役社長 山口 信二
 (コード番号 2217)
 問合せ先責任者 代表取締役副社長 山岡 祥記
 (TEL 078-822-5000)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年3月16日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年1月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2021年2月1日～2021年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,240	260	290	150	42.66
今回修正予想(B)	12,210	540	600	140	39.82
増減額(B-A)	△30	280	310	△10	
増減率(%)	△0.2	107.7	106.9	△6.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年1月期第2四半期)	11,547	△134	△25	△195	△55.60

2022年1月期通期個別業績予想数値の修正(2021年2月1日～2022年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,500	860	900	500	142.21
今回修正予想(B)	26,250	1,240	1,280	570	162.11
増減額(B-A)	△250	380	380	70	
増減率(%)	△0.9	44.2	42.2	14.0	
(ご参考)前期実績 (2021年1月期)	25,672	751	862	352	100.17

修正の理由

第2四半期累計期間の売上高につきましては、ほぼ前回予想通りの見込みですが、損益面につきましては、計画的・効率的な生産体制の構築、店舗の人員体制の最適化、経費の削減、売上状況に応じた適正在庫の確保などにより、営業利益、経常利益はともに前回予想を上回る見込みとなりました。四半期純利益につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた子会社、株式会社鎌倉ニュージャーマンに係る関係会社株式評価損220百万円を特別損失に計上したこともあり、前回予想を若干下回る見込みとなりました。

通期の売上高につきましては、「デルタ株」によるコロナ感染の急拡大に伴い、8月に入り緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の実施区域が拡大されており、人流の抑制が強く求められることにより、厳しい状況が続いております。この状況が9月末頃までは続くものの、10月以降はワクチン接種率が徐々に上がることで、個人消費は回復傾向に向かっていくという前提で想定しており、前回予想を下回ることとなりました。損益面につきましては、上半期の修正および下半期の売上高の減少、原材料費や物流コストの上昇等の影響も踏まえまして、営業利益、経常利益、当期純利益の見直しを行いました。

(注)上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

以 上